



# びわ湖 管理情報トピックス

びわ湖創館  
かんちょう

## ビオトープ !!

琵琶湖開発総合管理所では、いろいろな環境保全に取り組んでいます。今回は環境保全の一つ、ビオトープを紹介します。

【ビオトープとは：動物や植物が恒常的に生活できるように造成または復元された小規模な生息空間。(出典 三省堂 大辞林)】

琵琶湖開発総合管理所では、湖岸堤を造るために分断された琵琶湖と内陸側をつなぎ、フナやコイなど「在来魚」(ざらいぎょ)の産卵・生育などの場を再生する目的で、草津市新浜・下物、野洲市吉川、高島市新旭町太田の4箇所にビオトープを設置しました。

最も規模が大きい新浜ビオトープでは、魚道を通じて琵琶湖から在来魚が池にのぼり、そこで産卵します。池で生育した稚魚などの在来魚を琵琶湖に帰すため、池の水を抜き、職員による捕獲・放流を行い、その際にビオトープの成果を確認するため「干し上げ調査」で魚の種類と数を調べています。平成24年からは毎年10月に一般のお子さん達にも捕獲・放流を手伝ってもらい、琵琶湖で生きている生物の命や環境保全の大切さを学んでもらうイベント「お魚帰り大作戦」を実施しています。



この辺りに「魚道」があり、在来魚がのぼってきます。



捕獲の状況



放流の状況

「お魚帰り大作戦」のようです。ビオトープの池の水を排水すると、多くの在来魚がビオトープに残ります。その魚達を捕獲して琵琶湖に帰します。

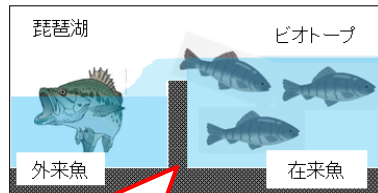
### 新浜ビオトープ(草津市)

普段は一般開放していませんが

近江大橋の歩道から見る事ができます。

#### 【魚道】

琵琶湖からビオトープへの入口には下の絵のように、外来魚はのぼりにくく、在来魚はのぼりやすく工夫した仕掛けを階段状に作っています。



仕切り板を飛び越えないとビオトープに入れない

干し上げ調査の結果  
(お魚帰り大作戦の捕獲含む)

調査年	在来魚数	外来魚数
平成21年	900	2
〃 22年	6,500	100
〃 23年	2,200	200
〃 24年	5,600	300
〃 25年	1,500	200
〃 26年	1,800	18
〃 27年	300	5
〃 28年	3,000	18
〃 29年	600	150
〃 30年	7,100	1,500

※外来魚は駆除しています

ビオトープで捕獲したフナの成魚 (約40cm)



ビオトープ生まれのフナの稚魚 (約5cm)



「干し上げ調査・お魚帰り大作戦」で確認された魚類は平成21年から30年までの間にブラックバスなどの外来魚が約2,500匹に対し、フナ・コイなどの在来魚は約30,000匹と実に**92%が在来魚**でした。

### 水は限りある資源です。みんなで大切に使いましょう！

- ①生活排水に気をつけよう！
- ②ゴミを捨てないようにしよう！
- ③水を大切に使う！



お皿の汚れを事前に拭き取るなどして、洗剤の量を減らすことに心がけましょう。



飲み残しのジュースやゴミを琵琶湖や川に捨てると水が汚れるのでやめましょう。



こまめに蛇口を閉めて、節水に心がけましょう。

# びわこつゆしん

発行 独立行政法人水資源機構  
琵琶湖開発総合管理所

2018年 冬季  
(★通巻 第30号 記念★)

冬のおすすめ特集 (2・3面)

## 鳥丸半島のシンボル

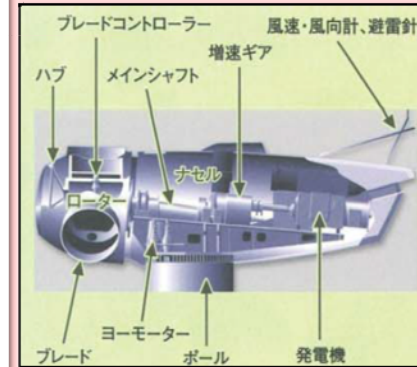
### くさつ夢風車 最後の雄姿 (草津市)

琵琶湖湖岸の鳥丸半島内にある「草津市立水生植物公園みずの森」には、クリーンな自然エネルギーを活用し、公共施設に電力を供給することを目的とした、風力発電設備「くさつ夢風車」が設置されています。

遠くからでもよく見えるこの巨大な風車は、草津市の環境シンボルとして親しまれています。自然エネルギーを活用することでCO2の排出が抑制できるため、地球温暖化防止にも貢献しています。再生可能エネルギーの「実現例」として、市内の小中学生の現地学習の場として利用されるなど、鳥丸半島のランドマークとしても親しまれてきました。



#### ■風車の内部



風車はドイツのファーランダー社で製造され、高さ60メートルの支柱に、長さ35メートルの3枚のブレード(羽根)があり、風が秒速13メートル以上吹いた場合の定格出力※は、最高毎時1500キロワット。一般家庭で320世帯分の年間発電量が見込まれていました。

※ 定格出力とは、指定された条件下で安全に達成できる最大の出力。

発電した電力は、隣接する水生植物公園に供給し、余剰分を電力会社に売電する仕組み。

ヨーモーターで風車の向きを変え、ブレード(羽根)を風を最適にとらえる角度に調整して回ります。メインシャフトの回転は増速ギアで増幅されて発電機を回します。

「くさつ夢風車」は、平成13年から稼働を開始しましたが、平成26年に運用を停止しており、今後廃止されることになっています。今のうちに、その雄姿を見に訪れてみてはいかがでしょうか？

#### 【交通アクセス】

所在地：草津市下物町 草津市立水生植物公園みずの森内

- JR草津駅西口発、近江鉄道バス「鳥丸半島」行き乗車、「みずの森」下車。(約25分)
- 名神高速道路「栗東IC」「瀬田(東西)IC」及び新名神高速道路「草津上IC」から湖岸道路へ出て鳥丸半島へ。(インターから30~40分程度)



びわこくん





# 冬のおすすすめ特集



琵琶湖沿岸10市の「観光協会」がおすすすめする、冬のイベントやビュースポット等をご紹介します。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

## ①箱館山スキー場 高島市

12月14日(金)から「箱館山スキー場」がオープンします！万が一降雪がなくても人工造雪機でお楽しみいただけます。自然降雪があれば、「マキノ高原マキノスキー場」や「国境高原スノーパーク」、「朽木スキー場」も続々オープンします。各スキー場は、雪遊びエリアも充実しており、ファミリーのグレンデデビューにもぴったりのウインターリゾートです。



所在地 高島市今津町日置前4201-4  
電話 0740-22-2486(箱館山スキー場)

## ②びわ湖大津館2018イルミネーション —光り輝く折り紙の世界— 大津市

びわ湖大津館に隣接する約5,900㎡のイングリッシュガーデンをメイン会場に、「和」をテーマに「光り輝く折り紙の世界」を表現したイルミネーションを実施します。煌びやかで神秘的でありながら、どこか懐かしい光のガーデンは必見です。



所在地 大津市柳が崎5-35  
開催日 平成30年12月1日(土)～平成31年2月14日(木)  
電話 077-511-4187(びわ湖大津館)

## ③草津市から見る対岸の眺望ポイント 草津市

矢橋帰帆島の湖岸緑地公園内からは、対岸の大津市街地や比叡山がきれいに見えます。公園内にあるハートマークに立って写真を撮ってみてはいかがでしょうか。



所在地 草津市矢橋帰帆島公園  
湖岸緑地公園内 帰帆島1  
電話 077-561-6507(草津市都市計画課)

## ④冬の風物詩「もりやまの菜の花畑」 守山市

第一なぎさ公園では、カンザキハナナ(冬咲花菜)という早咲きの菜の花が約12,000本ほど咲き(面積約4,000㎡)、琵琶湖対岸の比良山の雪で白く飾られた山肌とのコントラストをお楽しみいただけます。菜の花をバックに写真を撮ってみてはいかがでしょうか。



所在地 守山市今浜地先  
第一なぎさ公園  
電話 077-582-1266(守山市観光物産協会)

## ⑥水郷・八幡堀めぐり 近江八幡市

「近江八幡の水郷」は、琵琶湖八景(安土八幡の水郷)の一つに数えられる風光明媚な場所です。四季の趣に水鳥達が多く集うなど自然の営みや恵みを感じることができます。また、八幡堀(白壁の土蔵)は、桜や花菖蒲が植えられ四季折々の風景をお楽しみ頂けます。近江八幡市内では、船による「水郷めぐり」や「八幡堀めぐり」が行われていますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



電話 0748-32-7003(近江八幡観光物産協会)  
HP <http://www.omi8.com>

## ⑤糺屋吉右衛門(こうじやきちうえもん) 野洲市

近江富士(三上山)のふもと、風光明媚でのどかな場所で、江戸時代後期から(約180年)続く老舗、野洲市三上の「糺屋吉右衛門(こうじやきちうえもん)」は、県内でも珍しい糺製造専門の業者です。地元産材料にこだわり、昔ながらの製法で糺製品(米糺、甘酒、味噌)を作り続けています。味噌づくりでは、寒仕込みが良いとされており、お客さまの持ち込み材料(米・大豆・塩)を使った委託加工や、味噌づくり教室(要予約)も開かれています。一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



営業時間 9:00～18:00(不定休)  
所在地 野洲市三上1039  
電話 077-587-0397(糺屋吉右衛門)  
HP <https://kojiya-kichiuemon.jp/>

## ⑩長浜盆梅展 長浜市

長浜盆梅展は、昭和27年からはじまり、平成31年で68回目を迎えます。開花時期に応じ、約300鉢の中から約90鉢を明治の和風建築の慶雲館のお座敷にすらりと展示します。中には高さ約3m近い巨木や樹齢400年と伝わる古木もあります。開花状況に合わせて盆梅の入替を行っているため、常に見頃の盆梅を見ることが出来ます。



所在地 長浜市港町2-5  
開催日 平成31年1月10日(木)～3月10日(日)  
電話 0749-65-6521(長浜観光協会)

## ⑨醒井養鱒場(さめがいがようそんじょう)「さめがいわまつり」 米原市

「さめがいわまつり」では、びわサーモン(養鱒ピワマス)を使った、びわサーモン丼や塩焼き、甘露煮等が即売されます。また、びわサーモン丼やびわサーモンのクリームスープ等の振る舞いも同時に行われます。その他、マス釣りやエサやり、ノルディックウォークの体験もできますので、冬の醒井養鱒場でココロもカラダもポッカポカになってください。



所在地 米原市上丹生-9  
開催日 平成31年2月9日(土)～2月10日(日)  
電話 0749-54-0301(醒井養鱒場)

## ⑧彦根城と玄宮園(げんきゅうえん) 彦根市

玄宮園は彦根城の北東にある池泉回遊式(ちせんかいゆうしき)の旧大名庭園で、琵琶湖や中国の瀟湘(しょうしょう)八景にちなんで選ばれた近江八景を模してつくられたといわれ、国の名勝に指定されています。冬の雪景色をはじめ、秋の紅葉など、彦根城を借景とする四季折々の風情ある庭園の風景が楽しめます。



所在地 彦根市金亀町  
電話 0749-23-0001(彦根観光協会)

## ⑦雪の花咲く太郎坊宮(たろうぼうぐう) 東近江市

標高350mの赤神山の中腹にある太郎坊宮は、勝利と幸福を授ける神様として、1400年前から信仰される神社です。長い石段を登ると、神様の力で開かれた奇岩「夫婦岩」があり、幅60センチの岩の間を通り抜けると、願い事が叶うと伝わる人気のパワースポットです。ふもとからの景色も圧巻で、写真のような雪景色をはじめ、四季折々の姿を見せてくれます。



所在地 東近江市八日市小幡町2247  
電話 0748-29-3920(東近江市観光協会)

## 琵琶湖の明日を見つめて 独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所

〒520-0243 滋賀県大津市堅田2丁目1-10  
TEL.077-574-0680 FAX.077-574-1739  
湖北管理所 〒521-0011 滋賀県米原市中多良1-2  
TEL.0749-52-5160  
湖西管理所 〒520-1623 滋賀県高島市今津町住吉1-3-4  
TEL.0740-22-1500  
湖南管理所 〒525-0001 滋賀県草津市下町1091-58  
TEL.077-568-4102



<http://www.water.go.jp/kansai/biwako/>

琵琶湖管理 検索